

事業所名		児童発達支援事業　こりっつぱらす		支援プログラム		作成日：　2025　年　4　月　10　日	
法人（事業所）理念		法人理念　：世界に挑戦する子どもたちの可能性を信じ続け、わが子のように愛情を持って伴走する 広い世界で活躍する子どもたちはやがてそれぞれのカタチで慈しむ心の大切さを伝えていく 事業所理念：子どもひとりひとりが安心して自分らしく豊かに生きようになる支援の場 みんな違ってみんないい＝多様性の尊重(全承認)・子どもは1mmも変えない					
支援方針		1.安心・安全な世界を保証する支援の場＝安心・遊び心・強みを生かす支援 2.特徴を変えず、周囲(人・環境)の在り方を変える支援 3.大人の理想を手放して今ある姿をそのまま受け止める支援 4.取り組み・活動の量よりも質を大切にする支援(違うことをしてもよし、見学もよし、その子に合わせる) 5.支援計画はギフト＝スモールステップの目標で確実な歩みに寄り添う支援 6.遊びの段階(一人遊び→並行遊び→連合遊び)を重要視しながら、遊び・ビジョントレーニング・運動を通して脳機能に働きかける支援 7.こども園における友だちとの関わり、専門教育、行事、クラス活動などの活動が辛い時間ではなく、楽しく豊かな時間(+ぱらす)になるような支援					
営業時間		9　時　00　分　～　18　時　00　分　まで		送迎実施の有無		あり　なし	
		支　援　内　容					
本人支援	健康・生活	身支度～ボタンやチャックの練習、身支度にかかる時間を短縮できるよう声掛けとサポート 排泄～時間でのトイレへの声掛け、パンツで生活する習慣づけ 衣服～季節感のある服装や環境の理解					
	運動・感覚	運動～姿勢保持のために必要な筋力や体幹を鍛えるような運動メニューを設定、苦手意識を克服・緩和できるように楽しめるメニューを自分で選択できるよう環境設定 感覚～手先の不器用さを解消・緩和する個別ワークの設定(挟箸やプットインなどの指先を使う教材を使用)					
	認知・行動	行動～苦手な五感の刺激への対処(大きな音が苦手→イヤーマフをして音を緩和する等)、環境の変化(新しい環境等)への対応 認知～文字や数字・形への理解(フラッシュカード等を活用して視覚を通して理解できるよう支援)					
	言語 コミュニケーション	言語～自分の気持ちを表現できる手段を増やす(困った時には「助けて」や「手伝って」と伝える等)、文字の読み書きができるよう支援(フラッシュカード等を活用して視覚を通して文字の理解ができるよう支援) コミュニケーション～相手と会話する経験を増やす(お友だち同士でのやり取りや職員とのやり取りの機会を設ける等)					
	人間関係 社会性	人間関係～気持ちの切り替えができるように一緒に考える(気持ちが不安定になった際には落ち着ける方法を一緒に考え、実践する機会を設ける等) 社会性～小集団での集団遊びや活動への参加。(みんなで遊ぶ機会を設け、お友だちと関わりながら楽しく遊ぶ経験を積んでもらう等)					
家族支援		2～3か月に一度保護者面談を開催しご家庭での様子や事業所での様子を密に共有し保護者様が感じる困り感の解消・緩和を図っている。		移行支援		排泄の自立 自分の名前を書けるように学習支援	
地域支援・地域連携		提携園での活動・行事のサポート(利用児童が園行事に参加できるよう支援)		職員の質の向上		外部研修で配布された資料を読み合わせ(こどもの発達の理解について) 接遇マナーについて・報連相研修・自主性について等 コモンセンスペアレンティングの勉強会を開催	
主な行事等		季節ごとの制作(4月～桜　5月～こいのぼり　6月～梅雨　7月～七夕　8月～海　9月～月見　10月～ハロウィン　11月～栗 12月～クリスマス　1月～雪の結晶　2月～節分　3月～ひな祭り)					